

令和7年度 事業報告

令和7年7月に日本薬剤師会は「地域医薬品提供体制の整備に向けたアクションリスト」を公表した。これは、これまで薬局による個々の努力或いは、薬剤師会組織による会員相互扶助の観点で取り組んできた医薬品・薬剤師サービスを「地域提供」の観点から再検討・構築すべく策定されたもので、本会はこれを実行するために、地域薬剤師会との連携により新たな医薬品情報共有システム「eST-aid」の導入を決め、県内全域で運用を開始した。このシステムの活用により、地域における医薬品提供体制の可視化が可能となることから、今後も実効性を高めるために全薬局の参加と継続した周知を図ることとしている。

令和8年度に診療（調剤）報酬の改定が予定される中、保険調剤の正しい理解と適切な保険請求の推進を図るとともに、10都県社会保険担当者連絡協議会を主催して診療報酬請求に関する意見交換を行った。

また、地域の健康増進と保健衛生向上に資する薬事啓発事業の推進、医療DXへの対応強化としてサイバーセキュリティ対策の推進を図るとともに、薬局のかかりつけ機能強化事業の一つとして、昨年、モデル的に開始した心不全服薬管理指導への参加薬局の拡大を図り、お薬手帳への心不全シール貼付の取り組みを開始して、その取り組みを学会発表により全国へ発信した。

災害対策としては、本会が長年にわたり新潟県へ要望していた災害薬事コーディネーターの設置が実現し、初めて新潟県から3名が委嘱された。災害薬事コーディネーターは、大規模災害発生時に被災地における医薬品供給や薬剤師の配置、衛生面での支援などの調整を担うことになるが、災害支援に関する専門的な知見が必要となることから、今後も育成事業に参画して、県内各地域に複数人の設置を目指すこととしている。

組織強化策としては、若手薬剤師による交流を支援して会員の増強に繋げるとともに、薬局オーナーとの意見交換により相互理解を図るためオーナー会議を開催した。また、ここ数年は会員数の減少傾向が認められ、会運営における課題となりつつあることから、会員増強策として日薬が実施を決めた新卒薬剤師の加入促進キャンペーンを本会においても導入することとした。さらに、財政基盤の強化に向けて、事業運営における財政上の問題点を洗い出し、見直しの方針や対策等を検討する場として、特別委員会を設置した。

令和8年10月に新潟市で開催する第59回日本薬剤師会学術大会の準備は、分科会の決定、演題募集、参加登録システムの立ち上げ等、最終段階に入った。昨年設置した大会運営委員会に各検討事項の詳細を検討するための検討班を設置するとともに、企画準備推進チームを立ち上げて検討を加速させた。また、薬剤師の生涯学習促進のための研修会や学術講演会の開催など、会員の積極的な自己研鑽に繋がる事業を展開した。

以上のように、「地域包括ケアシステム」の深化・推進のための様々な事業の展開により、県内の全ての薬局がかかりつけ機能を強化・充実させ、薬局・薬剤師に求められる役割を果たすために必要な事業を実施したので報告する。

1 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加を図る。

- ① 会員証の発行により、研修会受講等における会員以外の参加者との差別化を図ること
で主にB会員(管理薬剤師以外の薬剤師)の加入促進を図った。
- ② 日薬が令和8年度に実施する新卒薬剤師初年度会費無料キャンペーンに合わせ、本
会においても令和8年度に限り同様のキャンペーンの実施を決定して、地域薬剤師会
に対して協力を依頼した。また、青年部への同時入部についても同様のキャンペーンの
実施を決定した。
- ③ 県薬の事業運営等について薬局オーナーと情報提供を行うとともに意見等を聞いて相
互理解を図るため「オーナー会議」を開催した。

(2) 財政基盤強化に向けた特別委員会の設置(新規)

本会の事業運営における財政基盤の強化を図ることを目的に「財政基盤強化に向けた
特別委員会」を設置した。

(3) 青年部の活動の活性化(継続)

- ① 薬剤師会の組織強化と若手薬剤師の交流を深め、薬剤師会における新たなリーダーを
養成する機会とするため「次世代薬剤師ユニゾン」を開催した。
講 演 チームビルディングについて
講 師 株式会社ヤナリ 李英健 氏
- ② 青年部員の交流や情報交換を図るため定例集会を開催した。
- ③ 交流イベント等を開催して、部員、会員の親睦を図った。
- ④ 活動内容を青年部員に広報するため、SNSを活用した外部広報を行うとともに、青年
部メールマガジンを配信した。
- ⑤ 薬剤師業務の内容を紹介するスライドを活用し、薬物乱用防止教室や職場での体験学
習において薬剤師業務の広報を行った。
- ⑥ 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催した。
講 演 薬剤師、薬局に係る情報の発信におけるSNSの活用術、注意点について
講 師 本町ICT支援ルーム ICT相談担当 デジタル推進委員 板谷尚子 氏
- ⑦ 部員同士の相談ツールとしてLINEのオープンチャットを利用して、業務に関する相談
や情報交換に活用した。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に
努めた。

2 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

県薬事業の広報及び会員への情報提供を目的に、会誌「ジャニファ」を4回発行した。

(2) 県薬ホームページの管理(継続)

会員や県民への最新の情報を提供するとともに、県薬に関する情報発信を目的に県薬ウェブサイトの管理と内容の充実を図った。

(3) 県薬事業にかかる広報体制の整備(継続)

県薬の各種事業を会員及び県民等へ効果的に広報するため、各委員会との連携・把握及び課題への対応等により広報体制の整備を図った。

(4) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

3 地域保健対策の推進

(1) 薬事啓発事業の推進(継続)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの補助事業として「県民のための薬のセミナー」を開催するとともに、主催者を対象にニーズの把握及び事業評価を行うためのアンケートを実施した。
- ② 地域薬剤師会や薬事衛生指導員の協力を得て、関連団体が主催するイベント等において、医薬品の適正使用や薬剤師の職能についての県民への啓発を行った。
- ③ 県民へジェネリック医薬品の正しい知識の普及啓発を図るため、マンガコンテンツをセミナー等で活用した。また、アニメーション動画を作成して県薬ウェブサイトに掲載した。

(2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止及び医薬品の正しい知識の啓発・普及を目的に、薬のセミナーやイベント等においてリーフレットの配布を行った。

(3) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① 自殺予防対策に係る人材育成を目的に、オーバードーズをテーマとして薬剤師を対象にした自殺予防ゲートキーパー研修会を開催した(ハイブリッド形式)。

講演 自殺対策における新潟県の現状

講師 新潟県福祉保健部障害福祉課

いのちとこころの支援室 主任 服部麻耶加 氏

講演 オーバードーズや自殺予防のために、薬剤師に求められること

講師 千葉大学大学院薬学研究院

先端実践薬学講座 実務薬学研究室 助教／博士(薬学) 永島一輝 氏

講 演 オーバードーズと希死念慮—支援者に求められること—

講 師 特定非営利法人BONDプロジェクト 代表 橘ジュン 氏、さくら 氏

- ② 薬剤師の自殺予防ゲートキーパー養成のため、ワークショップ講師との意見交換会を開催した。

4 電話相談事業の推進

- (1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルを活用した県民からの薬に関する電話相談に応じた。

5 医療・介護保険制度への対応

- (1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上のため、保険請求と保険調剤の正しい理解を目的として保険薬局研修会を開催した(Web研修)。

講 演 偽造処方箋への対応について

講 師 新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課 課長補佐 樋口玲輔 氏

講 演 薬剤師業務に関する調剤レセプト作成におけるポイント

講 師 新潟県薬剤師会医療・介護保険委員会 本部委員 竹田暁 氏

講 演 適正な保険調剤のために一個別指導における指摘事項等—

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 桂重之 氏

講 演 服薬フォローアップに係る取組強化について

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 小林賢司 氏

- (2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所及び新潟県と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換等を行った。

- (3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報について、会誌「ジャニファ」等を通じて会員へ周知した。

- (4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会の開催(拡充)

本県において、当番県として「10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会」を開催し、関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について意見交換を行った。

- (5) 調剤報酬改定等説明会への参加(隔年)

日薬の「令和8年度調剤報酬改定等説明会」に出席した。

- (6) 社保・国保・新潟県薬剤師会による調剤報酬審査に係る情報交換会の開催(継続)

適正な保険請求を推進するため、社保・国保のレセプト審査委員及び県薬担当役員で情報交換を行って両審査会間の整合を図り、審査情報等を会員へ「保険薬局だより」等にて周知した。

6 医療DXへの対応

- (1) 医療DXへの対応(新規)

県内の薬局における医療DXへの対応強化のため「薬局のサイバーセキュリティ対策研修会」を開催した(Web研修)。また、収録した動画をアーカイブ配信した。

講演 薬局向けサイバーセキュリティ対策チェックリストの検討ポイント

講師 一般社団法人Health ISAC Japan 事務局長 江原悠介 氏

トークセッション チェックリスト活用事例と現場での実践

進行 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

7 薬局のかかりつけ機能の強化推進

- (1) かかりつけ機能強化に向けた薬局への周知・啓発(継続)

- ① トレーシングレポートの質向上を目指して研修会を開催した(Web研修)。

講演 薬学的アセスメントの基本

講師 新潟県薬剤師会 副会長 渡部学 氏

講演 使ってみようトレーシングレポート事例集

講師 新潟県薬剤師会 副会長 渡部学 氏

- ② トレーシングレポート作成の質的向上を目指し、事例を収集して病院薬剤師と連携してレビューを行った。

- ③ 服薬フォローアップの実施強化を呼びかけるとともに、県民へ薬局機能に関する周知・啓発を行った。

- ④ かかりつけ機能の強化と対人業務の充実を図るため、薬局に対する周知・啓発を行った。

- ⑤ 医歯薬連携の更なる強化を図るため研修会を開催した(Web研修)。

第1回医歯薬連携スキルアップ研修会

テーマ 薬剤師が押さえるべき口腔衛生管理のポイント

講演 口腔環境に影響をもたらす薬剤による口腔有害事象

講師 日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座 教授 田中彰 氏

講演 薬剤が口腔におよぼす影響—歯科衛生士の視点から—

講師 済生会新潟県中央基幹病院 診療技術部 歯科衛生士 酒井奈美子 氏

第2回医歯薬連携スキルアップ研修会

テーマ 口腔管理で注意する薬剤と多職種への情報提供のポイント

講演 口腔・嚥下に及ぼす薬剤の影響と情報提供のポイント

講師 新潟県薬剤師会医療連携委員会 本部委員 武藤浩司 氏

講演 薬剤師に求められる医歯薬連携とツールの活用

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 小林賢司 氏

- ⑥ 医歯薬連携ツールとしてチェックシートを作成した。

(2) 心不全薬剤管理指導に係る質的向上等(新規)

- ① 心不全薬剤管理指導に係る協力薬局の拡大のため、説明会を開催するとともに、協力病院と薬局との連携強化のため、アンケート等を実施した。
- ② 心不全薬剤管理指導の取組について、第29回日本心不全学会学術集会及び第90回日本循環器学会にて発表を行った。
- ③ 患者の心不全に関する意識の向上を図り、薬局薬剤師が心不全患者を適切に認知できるようにするため、心不全シールを作成してお薬手帳に貼付する取組を実施した。

(3) かかりつけ機能強化に向けた薬剤師研修事業の実施と研修効果の向上(継続)

- ① 無菌調剤に係る基礎研修会を開催した(オンデマンド研修)。

講 演 薬局における無菌調剤の必要性和無菌調剤に係る手続き

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

講 演 無菌調剤に関わる消毒と調剤手技

講 師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会 本部委員 竹野敏彦 氏

講 演 在宅医療における栄養・輸液製剤について

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏

- ② 無菌調剤室における実技研修を開催した。

第1部 無菌調製のデモ及び無菌調剤室内での実習研修

第2部 院外処方箋の確認、輸液ラベルの作成、無菌調剤手技、調剤録等の保管
についての説明

- ③ 小児在宅医療研修会を開催した(Web研修)。

講 演 小児在宅医療における薬剤師の役割

講 師 日本薬剤師会 常務理事 川名三知代 氏

トークセッション

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

- ④ 在宅医療スキルアップ研修会を開催した(Web研修)。

講 演 在宅スキルアップ研修ーポリファーマシー対策と検査値の読み解きから始める、薬剤師の介入ー

講 師 新潟県薬剤師会 副会長 宮川哲也 氏

(4) 医薬品等の供給拠点としての体制を整備するための研修事業の実施(継続)

- ① 健康サポートのための多職種連携研修会(研修会A)を開催した。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

講 演 健康サポート薬局の基本理念(動画講義)

講 師 日本薬剤師会 会長 岩月進 氏

日本薬剤師会 常務理事 村杉紀明 氏

講演 健康サポート薬局の理念：地域包括ケアシステムに対応した薬局・薬剤師
「新潟県における健康サポート薬局の姿」

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

新潟県薬剤師会 地域医療・在宅推進委員会 本部委員 伊藤敏紀 氏
グループ討議 薬局が地域の資源とどのように繋がるか

進行 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

講演 健康づくり4計画の改定と新潟県の健康づくり施策について

講師 新潟県福祉保健部健康づくり支援課 健康立県推進班 田浪崇暢 氏
他職種等の取り組みについて ―健康サポート薬局との連携を探る―

講演 新潟県健康づくり財団の紹介及び生活習慣病予防等に関する事業について

講師 公益財団法人新潟県健康づくり財団 総務課 総務係長 上野久美子 氏

講演 子ども食堂の未来

講師 モリスバ子ども食堂 代表 後藤裕寿 氏

講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

第3部 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための 各職種・機関との連携による対応等に関する演習

ケーススタディ

進行 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

第4部 私たちの目指す健康サポート薬局の姿

グループ討議 健康サポート薬局として今私たちに何ができるか

進行 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

② 薬剤師のための認知症対応力向上研修会を開催した(Web研修)。

講演 かかりつけ薬剤師の役割

講師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間裕也 氏

講演 基本知識

講師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間雅克 氏

講演 薬局業務における実践

講師 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

講演 地域・生活における実践

講師 新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 鈴木雪絵 氏

③ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に係る研修会を開催した(アーカイブ配信)。

講演 オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について

講演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

1) 緊急避妊

2) 月経と月経異常および性周期のホルモン調節機序

3) OC全般と避妊法

講演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

1) 薬局での調剤の手順について

2) 患者対応等について

(5) 地域における医薬品提供体制の整備、推進(**新規**)

① 医薬品提供体制の整備地域における採用薬の情報共有及び災害時等における薬局の開局状況等を公表するとともに麻薬譲渡グループの設置・推進を図った。

② 地域医薬品提供体制の整備にあたり、薬局機能のリスト公開等に係る説明会を開催した。

③ 地域医薬品提供体制の活用に向けた多職種との連携会議等を開催した。

8 地域包括ケアシステムにおける医薬品提供体制等の整備

(1) 地域における薬局の在宅医療拠点の整備(継続)

地域薬剤師会と連携し、薬局の在宅医療拠点の整備を図った。

(2) 地域包括ケアシステムの体制整備に向けた多職種連携、薬局の役割の啓発(継続)

薬局薬剤師の在宅医療の提供体制等の整備、充実を図るため、以下の取組みを実施した。

① 小児在宅医療の推進に向けたパンフレットを作成した。

② 薬剤師の職能・訪問業務に関する多職種の理解を図るため、「おくすり相談会」へ薬剤師を派遣した。

(3) 医薬品提供体制の整備に向けた地域薬剤師会との連携促進、支援

① 第8次医療計画の目標達成に向けた県内の薬局の在宅医療の推進、無菌調剤等応需体制の整備に向け、地域薬剤師会担当者を対象とした会議を開催し、地域薬剤師会との連携を図った。

② 在宅医療における注射薬の利用拡大に向け、糸魚川市を対象に会議を開催した。

(4) 介護予防等の地域活動の推進、支援

市町村における介護予防・日常生活支援総合事業を支援するため、「介護予防のための地域ケア個別会議」へ参画するとともに、新任助言者の育成のため研修会を開催した。

(5) 在宅医療に関わる薬局の体制強化

在宅医療に関わる多職種から成る「新潟県在宅医療推進フォーラム(第17回住宅ケアを考える集い in 越後2025)」に実行委員を派遣し、集いの開催に参画した。

9 災害・感染症対策の推進

(1) 大規模災害対策に係る整備及び啓発(**拡充**)

① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、県病薬及び新潟大学医学部災害医療教育センターとの共催により新潟県災害薬事研修会を開催した(ハイ

ブリッド型研修)。

第1部

講 演 新潟県の災害医療体制及び薬事に関する体制

講 師 新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課 課長 北村友紀 氏

講 演 災害時における薬剤師の対応・役割

講 師 藤田医科大学医学部 地域医療産学連携共同研究講座
准教授 和泉邦彦 氏

第2部 地震災害を想定した情報の整理

進 行 藤田医科大学医学部 地域医療産学連携共同研究講座
准教授 和泉邦彦 氏

- ② 本会と地域薬剤師会が連携して活動できるよう、新潟県災害薬事地域薬剤師会担当者会議を開催し、情報交換を行った。
- ③ 災害対策マニュアルに則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とし、役員及び事務局全員を対象に携帯端末へのメール送信による情報伝達訓練を行った。
- ④ 災害発生時に県薬会館における災害対策本部の設置や感染症対策に必要な備品等を整備した。
- ⑤ 新潟市で開催された「ぼうさいこくたい2025」に参画した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(拡充)

- ① 国が主催する都道府県災害薬事連携推進会議へ出席し、情報収集を行った。
- ② 新潟県等が主催する災害・感染症対策関連の会議に出席し、行政及び他団体との連携体制の推進を図るとともに、災害薬事コーディネーターの設置に向けた育成事業に参画した。
- ③ 新潟県が行う安定ヨウ素剤の薬局における事前配布に、地域薬剤師会と連携して協力した。

(3) 新興感染症等への対応(継続)

日薬が作成した薬剤師の感染対策に関する研修コンテンツを会員に提供し、新興感染症等への対応に努めた。

(4) 災害薬事コーディネーター養成への協力(新規)

新潟県が設置する災害薬事コーディネーターの養成研修を視察するため、災害医療認定薬剤師研修会「PhDLS in 高田プロバイダーコース」に役員を派遣した。

10 医療安全対策

(1) 医療安全対策に係る研修の開催(継続)

- ① 「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」を開催した(オンデマンド研修)。

講 演 医薬品医療機器等法及び関連法令
講 師 (公財)医療機器センター 常務理事 新見裕一 氏
講 演 医療機器の品質管理
講 師 (一社)日本医療機器産業連合会 販売・保守委員会委員 浦富恵輔 氏
講 演 医療機器の不具合報告及び回収報告
講 師 (一社)日本医療機器産業連合会 PMS委員会委員 三田哲也 氏
講 演 医薬品医療機器等法及び関連法令
講 師 公益財団法人医療機器センター 常務理事 新見裕一 氏
講 演 医療機器の情報提供および薬剤師が知っておきたい機器等の話題
講 師 (公財)医療機器センター医療機器産業研究所 主任研究員 本田大輔 氏

- ② 県病薬と共催し、「薬剤師が安心して働くためのカスタマーハラスメント対策」をテーマとして「リスクマネジメント研修会」を開催した(Web研修)。

講 演 薬剤師が安心して働くためのカスタマーハラスメント対策—予防から対応スキルまで、現場に活かすポイントを学ぶ—
講 師 shukriya 代表 坪田のり子 氏

(2) 調剤事故対策(拡充)

調剤事故発生時の適切な対応を行うため、調剤事故対策マニュアルを改訂した。

11 ドーピング防止啓発活動の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発活動の推進(継続)

新潟県スポーツ協会と連携を図り、競技団体が開催するアンチ・ドーピング研修会に講師として、スポーツファーマシストである役員を派遣した。

12 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーション推進に関する啓発活動の推進(継続)

健康サポート薬局の整備推進及び要指導・一般用医薬品の購入するために来局した消費者の症候に対する医薬品の選択の考え方や受診勧奨等の判断力の向上を目的として、健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催した。

講 演 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局
講 師 新潟県薬剤師会 理事 清水真由子 氏
講 演 一般用医薬品等を取り巻く現状
講 師 日本薬剤師会 常務理事 岩月進 氏(DVD講義)
演 習 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応(演習)
講 師 日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会
委員長 亀山貴康 氏(DVD講義)
講 師 昭和大学薬学部 社会健康薬学講座

医薬品評価薬学部門 亀井大輔 氏(DVD講義)
進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 齋藤浩平 氏

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

全ての薬局に医薬品販売制度の法令遵守の徹底を図るため、日薬が実施している「医薬品販売制度に関する自主点検」に協力するとともに、会誌ジャニファ、県薬ホームページ及びメール等で会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援した。。

13 薬局製剤の推進

(1) 薬局製剤・漢方の啓発(継続)

- ① 薬局製剤及び漢方に関する日本薬剤師会等からの情報を会員へ提供した。
- ② 漢方を活用したセルフメディケーション研修会を開催した(Web研修)。

講 演 漢方を活用したセルフメディケーション
講 師 新潟県薬剤師会 理事 谷口弘明 氏

14 学術研究・生涯教育の推進

(1) 学術研修の支援(継続)

会員の研究発表を支援するとともに新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により新潟薬学会を開催した。

第169回新潟薬学会(Web開催)

一般演題 6題

特別講演 薬剤師業務における生成AIの活用について

講 師 慶應義塾大学医学部教授／慶應義塾大学病院薬剤部長 大谷 壽一 氏

(2) 研修会の共催・後援(継続)

他団体と共催して研修会を開催するとともに、他団体が主催する研修会等を後援して、会員の生涯教育の充実を図った。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して会員の生涯学習の環境整備を図った。また、地域における薬剤師の資質向上を図るため、以下の研修会を開催した。

- ① 2025年改訂版心不全診療ガイドラインと心不全治療への薬剤師の参画に係る研修会(Web研修)

講 演 新潟県での心不全シールの活用について

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 小林賢司 氏

講 演 2025年改訂版心不全診療ガイドラインの改訂ポイントと薬剤師の参画について

講 師 新潟大学大学院医歯学研究科 循環器内科学教室 教授 猪又孝元 氏

② 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2025の改訂のポイントに係る研修会(Web研修)

講 演 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2025(日本老年医学会)の改訂のポイントについて

講 師 大阪大学医学部 保健学専攻老年看護学 教授/医学博士 竹屋泰 氏

③ 「地域でポリファーマシー対策を考えよう！ーベンゾジアゼピン薬と抗コリン薬についてー」研修会(Web研修)

講 演 地域でポリファーマシー対策を考えよう！ーベンゾジアゼピン薬と抗コリン薬についてー

講 師 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 薬物治療管理主任/長寿医療研修センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室 室長 溝神文博 氏

④ 心不全患者に寄り添った薬物療法支援研修会(Web研修)

講 演 新潟県での心不全シールの活用について

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 小林賢司 氏

特別講演 心不全の予防管理と発症予防と薬局薬剤師に期待すること

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 高山亜美 氏
グループディスカッション

薬局薬剤師として、ステージA・ステージBの患者に対して心不全発症予防のために具体的に何ができるか

15 学術研究倫理審査への対応

(1) 学術研究倫理審査の実施(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修等の支援(継続)

① 日薬JPALSの動画活用による研修を周知し、研究推進のための支援をした。

② 日薬が主催する生涯学習担当者全国会議及び全国薬剤師研修協議会実務担当者会議に出席した。

16 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

① 実務実習の質の向上と相互の理解を深めるため、実務実習に携わった薬局及び病院の指導薬剤師による実務実習懇談会を開催した。

報告1 アドバンストワークショップ「学生により質の高い臨床経験を豊富に積ませるために必要なこと」

報告2 新潟県薬剤師会「薬学生実務実習の充実を図るための調査」

報告者 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

懇談会 近隣の薬局・病院の薬剤師同士で顔の見える連携を持つとともに、実務実習の指導上の問題点、改善点などについて

総 括 新潟県薬剤師会 副会長 若林広行 氏

② 認定実務実習指導薬剤師を対象とした更新講習会を開催した。

講 演 薬学教育モデル・コアカリキュラム

講 師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

講 演 薬学実務実習に関するガイドライン

講 師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

③ アドバンスワークショップを開催した。

情報交換 新潟薬科大学からの情報提供

提供者 新潟薬科大学 磯邊浩和 氏

グループワーク

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

総 括 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

講 演 未来を担う薬剤師を育む

ー改訂コア・カリキュラムと“心をつなぐ”コミュニケーションー

講 師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

④ 関東地区調整機構からの依頼により、令和8年度及び令和9年度の薬局実務実習受入薬局の調整を行った。

(2) 薬学生実務実習に関する情報収集(継続)

薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等を協議する関東地区調整機構総会や日薬全国会議に参加した。

(3) 薬科大学への情報提供(継続)

新潟県における実務実習を薬学生に紹介するための動画を更新し、明治薬科大学へ提供した。

17 地域薬学ケア専門薬剤師研修制度への対応

(1) 地域薬学ケア専門薬剤師研修制度にかかる研修調整(継続)

日本医療薬学会の「地域薬学ケア専門薬剤師研修制度」に係る研修の円滑な実施に向け、基幹施設と研修調整を行った。

18 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(継続)

① 地域薬剤師会への情報提供及び現状把握のために、地域薬剤師会の学薬担当者会議を開催した。

- ② 地域の検査実施状況、学薬報酬等の問題を把握し改善するために、地区ミーティングを開催した。
- ③ 北陸信越ブロック連絡会議に出席し、他県と情報交換を行った。
- ④ 日本薬剤師会が実施した2024年度全国学校保健調査に協力した。
- ⑤ 学校環境衛生基準に基づく定期検査票及び薬品管理に関する検査票の見直しを行った。
- ⑥ 令和6年度新潟県学校薬剤師活動状況調査結果をまとめるとともに、令和7年度活動状況調査票の作成し調査を実施した。
- ⑦ 学校薬剤師研修会として「くすり健康教育」及び「学校環境衛生」の研修会を開催した。
- ⑧ 日本薬剤師会学校薬剤師学術フォーラム及び日本薬剤師会学校薬剤師部会くすり教育研修会に参加した。
- ⑨ 北陸信越薬剤師学術大会において学校薬剤師活動に関する研究発表を行った。
- ⑩ 令和7年度全国学校保健・安全研究大会及び第75回全国学校薬剤師大会に参加した。
- ⑪ 組織運営と地域の保健水準向上に貢献するため、新潟県学校保健会と連携して学校保健活動を推進した。
- ⑫ 新潟県学校保健学会の役員会及び研究発表会に参加するとともに、補助金交付により学校保健活動を支援した。
- ⑬ 新潟県教育委員会及び新潟県立教育センターが主催する研修会及び新潟大学教育学部の教員養成実地指導に講師を派遣した。

(2) 病院・診療所部会(継続)

- ① 中小・療養病院の薬剤師の質向上のため、新潟県病院薬剤師会との共催により「薬剤業務セミナー」を開催した。
- ② 令和8年度診療報酬改定に伴う日病薬医療政策部セミナーの伝達講習会を新潟県病院薬剤師会との共催により開催した。
- ③ 県薬から発信されるメールニュースを県病薬の会員メーリングリストを通じて部会員等へ再配信し、相互理解の向上を図った。

(3) 卸勤務薬剤師部会(継続)

日本医薬品卸勤務薬剤師会新潟県支部が主催する継続研修会への参加について部会員へ広報した。

19 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会懇談会に役員を派遣して連携強化を図った。
- ② 三師会社会保険担当理事連絡協議会に参画して担当役員を派遣した。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、県民を対象とした健康寿命延伸フォーラムへ協力した。
- ② 「新潟はっぴー乳ライフ実行委員会」に参画し、「新潟はっぴー乳ライフ ピンクリボンホリデー2025 in 新潟」にブース出展し、資材の配布及び「おくすり相談」を行った。
- ③ 新潟県医師会が発起人となって開催された医療を守るための総決起集会に役員を派遣して、決議採択に賛成した。

(3) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県自殺予防対策推進県民会議に参画した。
- ④ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ⑤ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑥ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑦ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑧ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県救急搬送・受入協議会に参画した。
- ⑫ 新潟県血液対策推進協議会に参画した。
- ⑬ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑭ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑮ 新潟県知事政策局「新潟県人口ビジョン」に参画した。
- ⑯ その他関係団体との連携を強化した。

20 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会への参加(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

21 薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への対応(拡充)

- ① 令和8年度の新潟開催に向けて設置した大会運営委員会に、企画準備推進チームと検討事項毎の班を設置して、日薬と具体的な協議を開始した。
- ② 京都大会へ役員等を派遣して新潟開催に向けた情報収集を行うとともに、展示ブースを設置して新潟大会のPRを行い、その報告を会誌「ジャニファ」に掲載した。
- ③ 県薬ホームページに専用ページを開設して、新潟大会に関する情報提供を開始した。

(2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への対応(継続)

- ① 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催に関する情報を会員へ提供して演題発表等を支援した。
- ② 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に役員等を派遣して情報収集を行うとともに会員へ情報提供を行った。